



平成22年10月28日公表

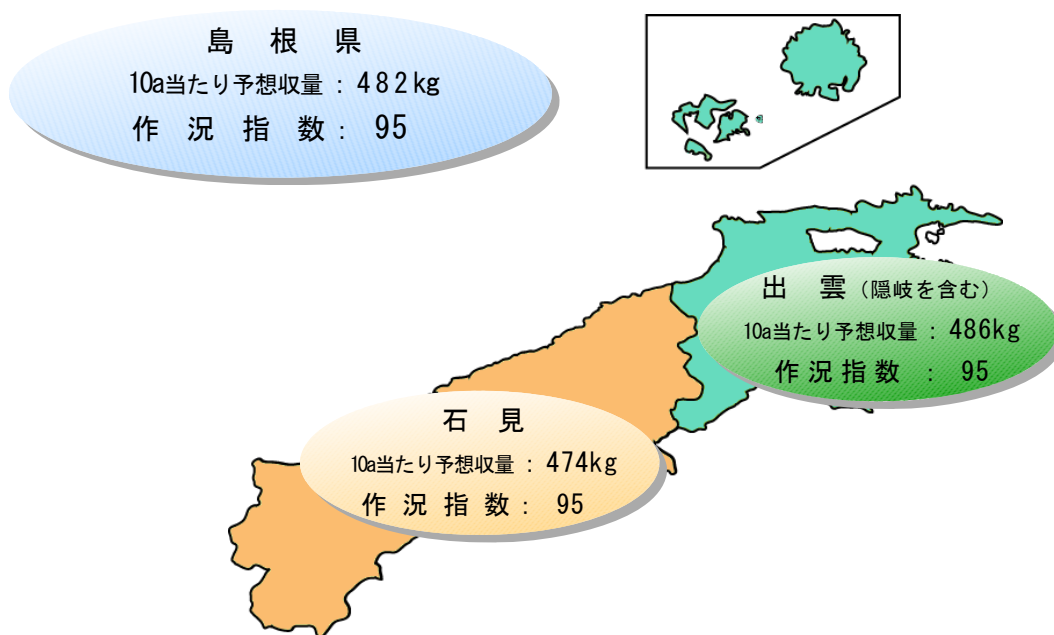
## 平成22年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（島根県）

— 10a当たり予想収量は482kg（作況指数95）の見込み —

### 【調査結果の概要】

- 1 島根県における平成22年産水稻の作付面積（子実用）は1万9,400haとなりました。また、主食用作付見込面積は1万9,200haが見込まれます。
- 2 10月15日現在における水稻の10a当たり予想収量は482kg（作況指数95）が見込まれます。作柄表示地帯別には出雲が10a当たり予想収量486kg（作況指数95）、石見が10a当たり予想収量474kg（作況指数95）と見込まれます。
- 3 以上の結果、予想収穫量（子実用）は9万3,500tが見込まれます。また、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は9万2,500tが見込まれます。

### 作柄表示地帯別10a当たり予想収量



- 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積です。
- 主食用作付見込面積とは、作付面積（青刈り面積を含む）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）です。
- 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率です。
- この調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行い、一部収穫を終えていない地域では、もみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行いました。なお、10月15日現在の島根県の刈取済面積割合は99%となっています。

この統計調査における調査の目的、利用上の注意などは、【調査の仕様】P8に掲載しています。

## 【解 説】

### 1 作付面積

平成22年産水稻の作付面積(子実用)は1万9,400haで、前年産に比べて100ha(前年産対比1%)増加しました。

なお、水稻作付面積(青刈り面積を含む)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等(加工用米、新規需要米等)の面積を除いた主食用作付見込面積は、1万9,200haが見込まれます。

### 2 作柄概況

(1) 穂数は、生育初期の低温、日照不足により茎数が少なかったことから、「少ない」となりました。

1穂当たりもみ数は、6月下旬から7月下旬の幼穂形成期が高温・多照で経過したことや穂数の減少に伴う補償作用などから、「多い」となりました。

全もみ数は、穂数が少ないものの、1穂当たりもみ数が多いことから「やや少ない」となりました。

(2) 登熟は、出穂開花期以降、最高気温、最低気温ともに高く経過したことで、高温障害等により粒の充実が平年を下回ったことなどから「やや不良」となりました。

(3) 刈取期は、出穂が平年に比べて遅れたものの、登熟期間が高温で経過したことや天候に恵まれて収穫作業が順調に進んだことから、最盛期は9月12日で平年に比べ5日、前年に比べて8日早くなりました。

なお、10月15日現在の刈取済面積割合は99%となっています。

(4) 以上の結果、島根県における10月15日現在の10a当たり予想収量は482kg(作況指数95)が見込まれます。

作柄表示地帯別には、出雲が10a当たり予想収量486kg(作況指数95)、石見が10a当たり予想収量474kg(作況指数95)と見込まれます。

### 3 予想収穫量

予想収穫量(子実用)は9万3,500tが見込まれます。また、主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は9万2,500tが見込まれます。

### 4 被害状況

被害は、病虫害等の発生は少ないものの、山間部を中心としたイノシシの被害や5月の低温・日照不足による生育の抑制、7月中旬以降の猛暑による高温障害等により「やや多い」となっています。

【統計表】

1 平成22年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

| 区 分 | 作付面積<br>(子実用)<br>① | 前年産との比較 |     | 10a当たり<br>予想収量<br>② | 予想収穫量<br>(子実用)<br>③=①×② | 前年産との比較 |     |
|-----|--------------------|---------|-----|---------------------|-------------------------|---------|-----|
|     |                    | 対 差     | 対 比 |                     |                         | 対 差     | 対 比 |
|     |                    |         |     |                     |                         |         |     |
| 島根県 | 19,400             | 100     | 101 | 482                 | 93,500                  | △ 1,100 | 99  |
| 出雲  | 13,100             | 100     | 101 | 486                 | 63,700                  | △ 700   | 99  |
| 石見  | 6,220              | 10      | 100 | 474                 | 29,500                  | △ 300   | 99  |

| 区 分 | 参 考                |                         |                       |                     |
|-----|--------------------|-------------------------|-----------------------|---------------------|
|     | 主食用作付<br>見込面積<br>④ | 予想収穫量<br>(主食用)<br>⑤=②×④ | 10 a 当たり<br>平年収量<br>⑥ | 作 況<br>指 数<br>⑦=②/⑥ |
|     |                    |                         |                       |                     |
| 島根県 | 19,200             | 92,500                  | 509                   | 95                  |
| 出雲  | ...                | ...                     | 514                   | 95                  |
| 石見  | ...                | ...                     | 499                   | 95                  |

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積です。  
 2 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）です。

2 平成22年産水稻の刈取期及び作柄概況（10月15日現在）

| 区 分 | 刈 取 期 |       |       |        |       | 刈取済<br>面積<br>割合 | 穂数の<br>多少 | 1穂当<br>たりも<br>み数の<br>多少 | 全もみ<br>数の<br>多少 | 登熟の<br>良否 | 被害の<br>多少 |
|-----|-------|-------|-------|--------|-------|-----------------|-----------|-------------------------|-----------------|-----------|-----------|
|     | 始 期   | 最盛期   | 終 期   | 最盛期の比較 |       |                 |           |                         |                 |           |           |
|     |       |       |       | 対 平 年  | 対 前 年 |                 |           |                         |                 |           |           |
| 島根県 | 8. 28 | 9. 12 | 10. 3 | 5日早    | 8日早   | 99              | 少ない       | 多い                      | やや少ない           | やや不良      | やや多い      |
| 出雲  | 8. 27 | 9. 11 | 10. 3 | 7日早    | 10日早  | 99              | 少ない       | 多い                      | やや少ない           | やや不良      | やや多い      |
| 石見  | 8. 29 | 9. 13 | 10. 3 | 1日早    | 3日早   | 100             | 少ない       | 多い                      | やや少ない           | やや不良      | やや多い      |

注：刈取期の始期とは、刈取済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日です。

【参考1】

平成22年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況及び10a当たり収量内訳（概数値）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は農産物規格規程三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別された玄米の重量としています（【参考2】参照）。農家等が販売するために使用している選別ふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、ふるい目幅の重量割合とふるい目幅別10a当たり収量の概数値を示すと次のとおりです。

単位 { 重量割合：％  
平均対差：ポイント

| 区分<br>県・作柄表示地帯 | 合計   | ふるい目幅  |        |        |        |        |        |
|----------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                |      | 2.00mm | 1.90mm | 1.85mm | 1.80mm | 1.75mm | 1.70mm |
| 島根県            | 本年値  | 86.1   | 9.8    | 1.8    | 1.1    | 0.7    | 0.5    |
|                | 平均対差 | 2.2    | △ 1.3  | △ 0.4  | △ 0.2  | △ 0.2  | △ 0.1  |
| 出雲             | 本年値  | 86.7   | 9.3    | 1.8    | 1.0    | 0.7    | 0.5    |
|                | 平均対差 | 3.1    | △ 2.3  | △ 0.4  | △ 0.2  | △ 0.1  | △ 0.1  |
| 石見             | 本年値  | 84.4   | 10.9   | 2.0    | 1.3    | 0.9    | 0.5    |
|                | 平均対差 | △ 0.7  | 0.7    | 0.0    | 0.1    | 0.0    | △ 0.1  |

単位：kg

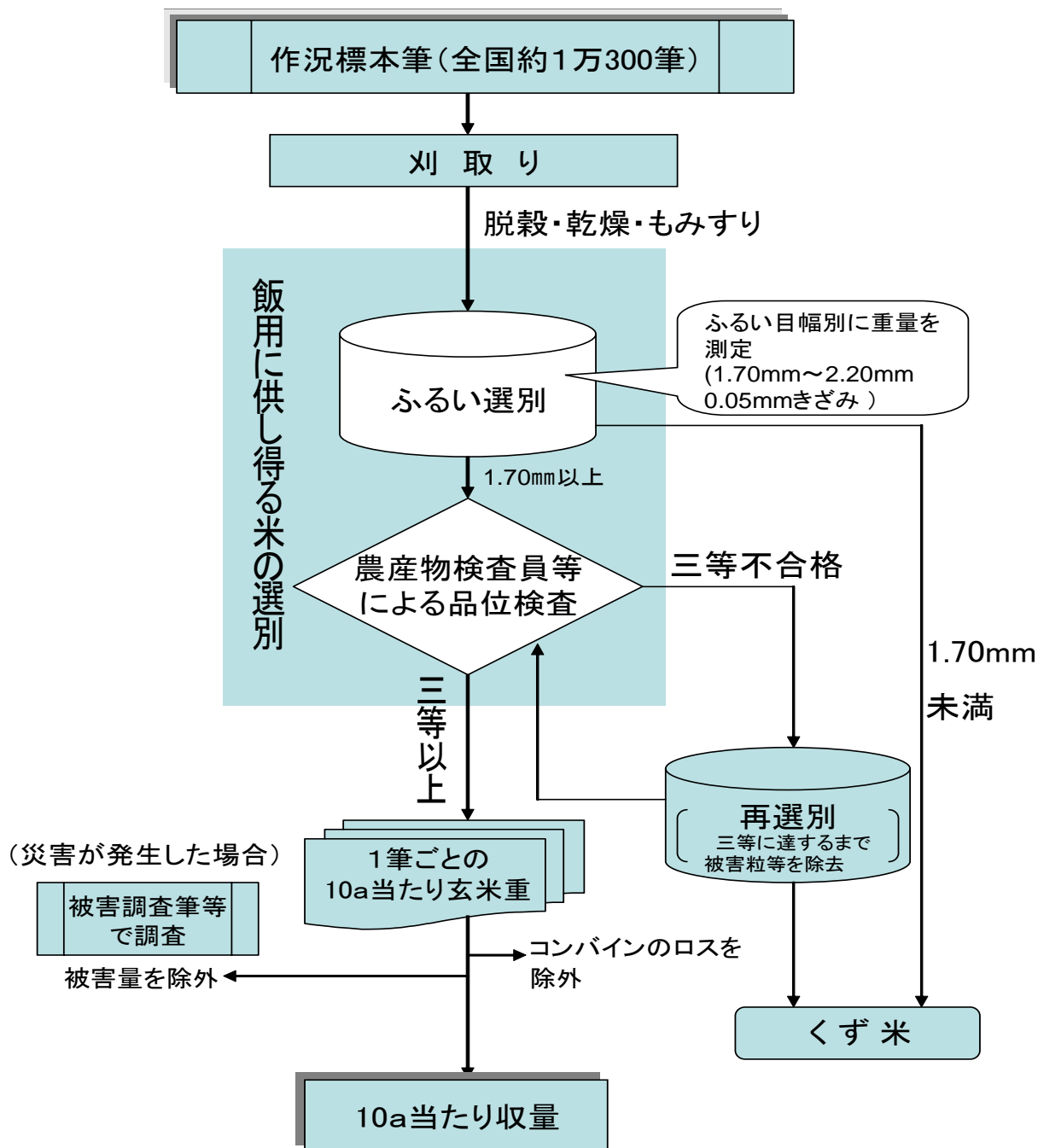
| 区分<br>県・作柄表示地帯 | 10a当たり<br>収量<br>(1.70mm選別) | 選別ふるい目幅別10a当たり収量 |              |              |              |              |
|----------------|----------------------------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|                |                            | 2.00mm<br>選別     | 1.90mm<br>選別 | 1.85mm<br>選別 | 1.80mm<br>選別 | 1.75mm<br>選別 |
| 島根県            | 482                        | 415              | 462          | 471          | 476          | 480          |
| 出雲             | 486                        | 421              | 467          | 475          | 480          | 484          |
| 石見             | 474                        | 400              | 452          | 461          | 467          | 472          |

- 注：1 平均対差に用いた平均値は、直近5か年の重量割合の平均値です。  
 2 選別ふるい目幅別10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことです。  
 3 被害等により未熟粒・被害粒等の混入が多く、農産物規格規程三等の品位に達しない場合は再選別を行っており、その選別後の値を含んでいます。

【参考2】

### 収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る米の全量を把握することを目的として、作況標本筆ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70mm以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。



## ふで 作況標本筆とは

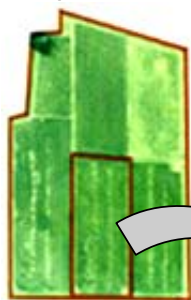
ふで  
収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆(1枚のほ場を筆と呼びます。)は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて以下のように各地で選定し(島根で195筆)、調査しています。

島根県内の全耕地  
(母集団)



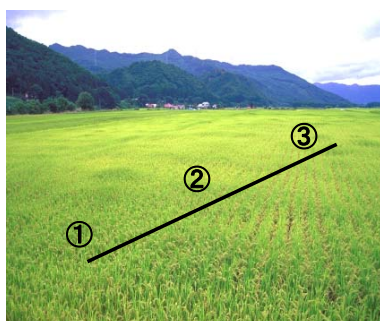
- ① 耕地を、約2haの区画に区切った単位区の集まり(調査母集団)として整理し、その中の水田を含むものから、無作為抽出法(人間の恣意を排したくじ引きの様な選び方)により「標本単位区」を選んでいきます。

標本単位区  
(約2ha)



- ② 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としていきます。

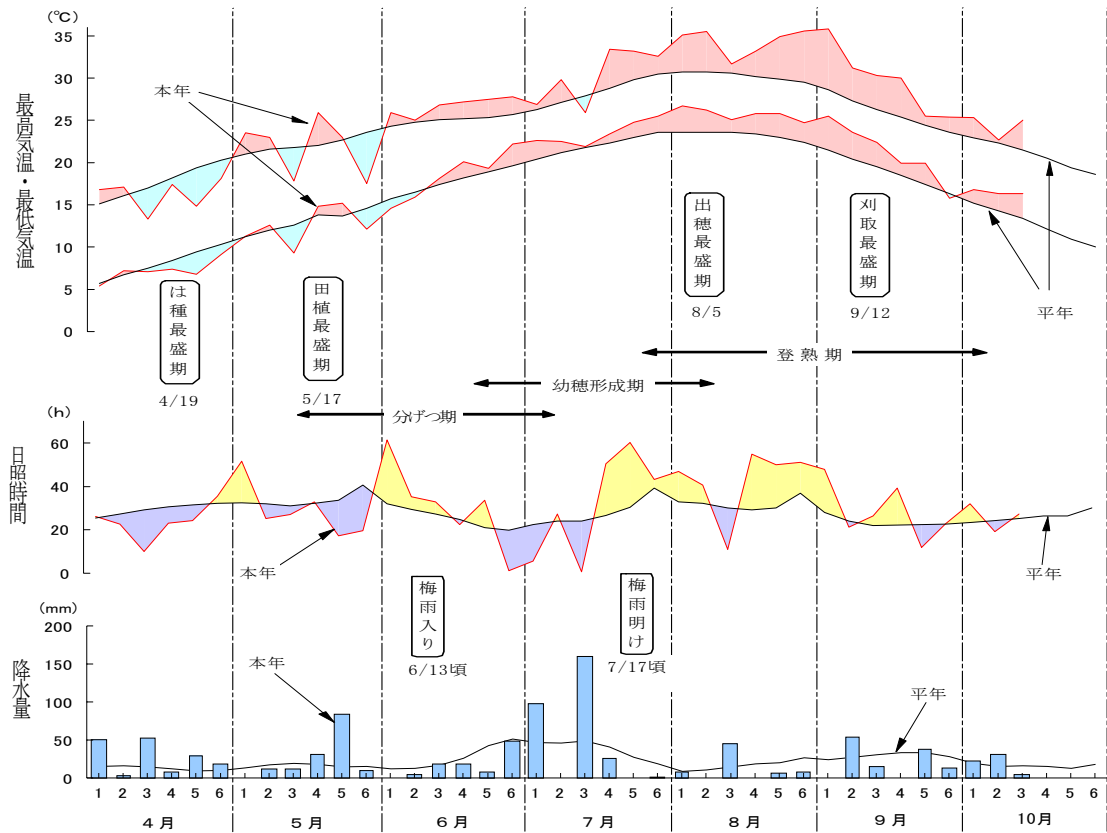
作況標本筆  
(島根で195筆)



- ③ 各作況標本筆の対角線上の3カ所を実測調査箇所として、サンプル採取(坪刈り)を行っています。

## 【関連するデータ】

### 1 稲作期間の気象経過図（観測地点：松江）



資料：気象庁「アメダスデータ」により作成

### 2 水稻（子実用）の年次別推移（島根県）

| 年 産  | 島                   |                       | 根          | 県          |                            |
|------|---------------------|-----------------------|------------|------------|----------------------------|
|      | 作付面積<br>(子実用)<br>ha | 10 a 当たり<br>収 量<br>kg | 収 穫 量<br>t | 作 況<br>指 数 | 10 a 当 たり<br>平 年 収 量<br>kg |
| 平. 2 | 28,100              | 495                   | 139,100    | 106        | 466                        |
| 3    | 27,500              | 437                   | 120,200    | 92         | 473                        |
| 4    | 28,200              | 482                   | 135,900    | 102        | 473                        |
| 5    | 28,100              | 376                   | 105,700    | 79         | 476                        |
| 6    | 28,800              | 535                   | 154,100    | 112        | 476                        |
| 7    | 27,400              | 497                   | 136,200    | 104        | 476                        |
| 8    | 24,900              | 513                   | 127,700    | 108        | 476                        |
| 9    | 24,600              | 472                   | 116,100    | 98         | 480                        |
| 10   | 22,500              | 486                   | 109,400    | 101        | 480                        |
| 11   | 22,200              | 493                   | 109,400    | 101        | 487                        |
| 12   | 22,100              | 515                   | 113,800    | 104        | 495                        |
| 13   | 20,900              | 517                   | 108,100    | 104        | 495                        |
| 14   | 20,500              | 514                   | 105,400    | 103        | 500                        |
| 15   | 20,300              | 454                   | 92,200     | 90         | 503                        |
| 16   | 20,800              | 492                   | 102,300    | 97         | 505                        |
| 17   | 20,600              | 516                   | 106,300    | 102        | 508                        |
| 18   | 20,200              | 488                   | 98,600     | 96         | 508                        |
| 19   | 19,900              | 484                   | 96,300     | 95         | 508                        |
| 20   | 19,400              | 511                   | 99,100     | 100        | 509                        |
| 21   | 19,300              | 490                   | 94,600     | 96         | 509                        |

## 【調査の仕様】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稲調査の中の予想収穫量調査として実施し、水稲の作付面積、作柄状況、予想収穫量を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としています。

### 2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っています。

なお、島根県における作柄表示地帯の区分は、次のとおりです。

| 作柄表示地帯 | 市 町 村 名  |
|--------|--|
| 出 雲    | 松江市、出雲市、安来市、雲南市、東出雲町、奥出雲町、飯南町、斐川町、海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町 |
| 石 見    | 浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町                 |

### 3 調査対象数

#### (1) 作付面積調査

標本単位区：502単位区 巡回・見積り：21市町村

#### (2) 予想収穫量調査

作況標本筆：195筆 作況基準筆：11筆 巡回・見積り：21市町村

### 4 調査事項

水稲の作付面積、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況。

### 5 調査期間

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 予想収穫量調査：10月15日現在

### 6 調査方法

#### (1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行いました。

#### (2) 予想収穫量調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査並びに作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行いました。

### 7 集計方法

#### (1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめています。

#### (2) 予想収穫量調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめています。

## 8 用語の解説

- (1) 青刈りとは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（WCS用稲、わら専用稲等を含む）のほか、飼料用米、バイオ燃料用米を指します。
- (2) 作況指数とは、10a当たり平年収量に対する10a当たり予想収量の比率をいいます。
- (3) 10a当たり平年収量とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況を平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10a当たり収量をいいます。

## 9 利用上の注意

- (1) 本調査（10月15日現在）は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行いましたが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行いました。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがあります。
- (2) この農林水産統計で用いた「穂数の多少」、「1穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」及び「被害の多少」で用いた表示区分は、各指標の平年値に対する比率を次のとおりの区分で表したものです。

| 多 少<br>(良 否) | 少ない<br>(不良) | やや少ない<br>(やや不良) | 平年並み    | やや多い<br>(やや良) | 多 い<br>(良) |
|--------------|-------------|-----------------|---------|---------------|------------|
| 対平年比         | 94%以下       | 95～98%          | 99～101% | 102～105%      | 106%以上     |

- (3) 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがあります。

| 原 数                | 7けた以上<br>(100万) | 6けた<br>(10万) | 5けた<br>(万) | 4けた<br>(1,000) | 3けた以下<br>(100) |
|--------------------|-----------------|--------------|------------|----------------|----------------|
| 四捨五入するけた数<br>(下から) | 3けた             | 2けた          |            | 1けた            | 四捨五入しない        |
| 例                  |                 |              |            |                |                |
| 四捨五入する前            | 1,234,567       | 123,456      | 12,345     | 1,234          | 123            |
| 四捨五入した数値           | 1,235,000       | 123,500      | 12,300     | 1,230          | 123            |

- (4) 表中に用いた記号は以下のとおりです。
- 「△」は、減少したものを示します。
- 「…」は、事実不詳又は調査を欠くものを示します。

## 10 その他

本調査についての確定値は、「平成22年産水稻の収穫量」として12月上旬に公表する予定です。

### 問い合わせ先

中国四国農政局 島根農政事務所  
 統計部 生産流通消費統計課  
 電話 (0852)24-7311 (代表) 内線330  
 FAX (0852)32-2630



農林水産統計は、中国四国農政局のホームページでご覧いただけます。  
 ホームページアドレス <http://www.maff.go.jp/chushi/>